



令和2年度(2020年)の重点

① 「自己をみつめる生活」

② 「確かな学力」

③ 「人権学習の充実」

□ 自分をみつめ、互いをみつめ、自分のあり方を問いつける生徒を育む
【小川中3本柱】を通して

- ① 「あいさつ」
・ 時と場に合わせた明るいあいさつ
- ② 「清掃」
・ 磨き上げる「膝つき三度がけ」
- ③ 「歌声」
・ 学年を超えた歌声づくり

□ 生徒と共に創る学校生活

- ・ 協働して築く各種行事
- ・ 達成感もてる生徒会活動
- ・ 自己研鑽と切磋琢磨溢れる部活動

□ 学級づくり、集団づくり

- ・ 規範意識を高める集団づくり
- ・ 自他をみつめ、あり方を問いつけるキャリア教育、平和教育、総合的な学習の時間
- ・ 他者との違いや多様性を受け入れ、認め合える集団づくり、

□ 教育相談、個別懇談の実施

- ・ いつでも相談できる「相談室」を設定
- ・ 各学期に教育相談週間の実施
- ・ 理学療法士による授業や定期的な健康相談会の実施

□ 生徒の心に多様性を育む

- ・ 山間地連携の他校との合同授業を通して
- ・ 連学年での学習を通して
- ・ 平和学習、総合的な学習の時間の様々な体験学習を通して

□ 3つの柱を育む授業づくり

☆ 個別の知識・技能 = knowledge
・ 基礎的、基本的事項の定着を予習や復習のある授業

☆ 思考力・判断力・表現力等 = intelligence
・ 資質、能力を育てる、課題を明確にし、思考を深める授業
・ 他者と協働し、互いの考えを尊重する授業
・ 抱いた疑問や想い、考えなどを表現できる授業

☆ 主体的に学習に取り組む態度 = mind
・ 追究したくなる題材や試行錯誤ができる授業展開の工夫
・ ねらいの達成を見届ける授業（見返し）

□ 三観点に合わせた授業と評価づくり

- ・ 三観点評価に合わせた通知表の作成
- ・ 三観点評価に合わせた教科指導計画の作成

□ 学力、学習意欲の向上

- ・ 家庭学習の手引きや学習週間を利用した学習習慣の定着
- ・ 小川塾を通じた自ら学びに向かう姿勢づくりと、基礎的、基本的事項の定着
- ・ 単元のまとめごとに生徒同士のテストづくり
- ・ 英語検定3級以上の取得を目指し、漢字検定、数学検定の受検と共に推奨していく

□ 平和学習、総合的な学習の時間の体験を通して、自己をみつめ、生き方を問う生徒を育む

- ・ 満蒙開拓平和記念館見学、松代大本営地下壕見学を通して
- ・ 広島原爆資料館訪問と被爆体験講演会を聞いて
- ・ 地域の方の戦争体験講演会を通して
- ・ 平和学習で学んだことの発信を通して

□ 人権学習月間を通して人権感覚を磨く。

- ・ 春、秋2回の人権学習月間の実施
- ・ 各種人権講演会の実施
- ・ 道徳の授業を確実な実施
- ・ ボランティア活動（村社会福祉大会への参加等）の推進

□ 地域との連携との連携を進め、郷土小川を愛し大切にしていこう生徒を育む

- ・ 地域の教育力を活かした各種体験活動
- ・ 「一日小川」の充実
 - ① 薬師沢石張工での体験活動
 - ② お年寄り宅訪問の実施
- ・ サンリング訪問と福祉体験学習の実施
- ・ 地域や外部機関との連携した人権学習、

□ 生徒の心情に寄り添い、受容と共感を基盤にした生徒指導

- ・ 温かい愛情と厳しさを持って取り組む生徒指導と部活指導
- ・ 自尊心を育む生徒指導
- ・ 毅然とした態度で、いじめや差別に対応
- ・ 生徒の実態に寄り添い共に歩む教師

□ 小中連携を通じた人権学習

保護者・学校評議員・生徒・教師による学校評価を行い、PDCA サイクルを構築します

